

ぎのわん地域づくり塾 ニュースレター

Vol. 1

主催：宜野湾市 / 宜野湾市社会福祉協議会 運営：特定非営利活動法人 まちなか研究所わくわく

共催：沖縄国際大学 後援：沖縄県地域振興協会

H29. 7. 9 ～ぎのわん地域づくり塾の様子をお伝えします～ 発行：宜野湾市市民協働推進課

地域づくりの基本を学び、熱気に包まれた

第1回 公開講座 <7月9日(日)14:00-17:00> 54名参加

ひとを育む地域づくりを進めるために
～コーディネーターの役割を描く～

高崎経済大学 櫻井常矢教授

今年も地域コーディネーター養成講座「ぎのわん地域づくり塾」が開講しました。沖縄国際大学で開かれた第一回の公開講座には、自治会、民生委員、企業、社会福祉協議会、大学、学生、市民、行政など、地域づくりに熱意を持った54名の参加がありました。櫻井先生の迫力のある講義と、参加者同士のグループディスカッションで会場は大いに盛り上がりました。

第1回目は、地域づくりとコーディネーターの役割を理解するための講座です。なぜ地域づくりが必要なのか、どのように行うのか、コーディネーターの役割等、実際の事例を交えて、講義していただきました。あっという間の100分間でした。

～以下、講話より～

○地域の暮らしに難しい課題が増えてきた。行政



櫻井常矢 教授

だけでは解決できない、地域の課題を解決するために地域づくりが重要になっている。

- 自分たちだけでは解決することが難しい課題に対して、他所と連携することが求められている。
- 地域づくりは、事業活動のことではなく、事業活動までのプロセス。話し合いの中から地域の課題を明らかにしていくプロセスが大事。
- コーディネーターは、事業活動の主体ではない。解決できる人・団体・情報のつなぎ役。アンテナの高さとネットワークが必要。
- コーディネーターの役割は、地域の人が活躍できる場面（出番）をつくること。承認すること。人々が自らの力で頑張ろうとすることに、気づきを与え、誇り、こだわりを育む。そのために、地域の人達が、話し合い、考え、一緒に悩む環境をつくるのが大切なところ。



塾生の声 ～アンケートより～

- 大変面白く勉強させていただくことができた。実践例をたくさん聞くことができたため、自分にもやれるかも、と勇気をもらいました。
- 皆の先頭に立って引っ張っていくのが地域づくりだと思っていたが全く違い、なんだかホッとした。
- コーディネーターは課題解決をするのではなく、つなげる役割だと感じる事ができた。
- 解決法をすぐに求めてしまうことが多いので、プロセス重視は目から鱗でした。
- やる気がどんどん湧いてきました。

塾長あいさつ～開講式～

開講式では、宜野湾市企画部長の国吉孝博より「塾生のみなさんには、塾生同士のネットワークを築きながら実りの多い受講となるよう、そして、協働によるまちづくりにご活躍されるよう期待します。」との地域づくり塾塾長の佐喜眞淳市長の挨拶が代読されました。

次回の講座は・・・

地域づくり実践の現場から学ぶ

宇地泊区自治会 富名腰 義政 会長、高良 謙二氏

7月24日(月)19:00～ @宇地泊自治会